

現代支那名家著作目錄

(五)

傅斯年

字は孟眞。山東聊城の人。光緒二十二年（一八九六）生る。民國七年北京大學文科在學中、陳獨秀の主幹する「新青年」に投稿、文學革新運動に加はる。八年春、同學有志と共に雜誌「新潮」を起し、その編輯主任となる。漸く重加する反動と抗し、更に文學革命、白話文を鼓吹す。次で「五四運動」の勃發するや、その學生運動の中心人物たり。同年遂に北京大學を去り、外國に留學、倫敦大學・伯林大學に史學を修め、十五年歸國、廣州國立中山大聲文史系主任に任ぜらる。國立中央研究院歷史語言研究所の成立するや、その專任研究員となり、所長を兼ね現在に及ぶ。研究所在任中、北京大學史學系に史學方法論を講ぜしことあり。

王國維之宋元戲曲史	新潮	一、一。	八、一、一。
馬叔倫之莊子札記	同	一、一。	八、一、一。
將維喬之論理學講義	同	一、一。	八、一、一。
清梁玉繩之史記志疑	同	一、一。	八、一、一。
宋郭茂倩之樂府詩集	同	一、一。	八、一、一。
中國文學史分期之研究	同	一、一。	八、一、一。

宋朱熹的詩經集傳和詩序傳	同	一、四。	八、四、一。
清代學問的門徑書幾種	同	一、四。	八、四、一。
評秦漢統一之由來及戰國人對於世界的想像	中山大學語歷研究所週刊	一、三。	六、一、六。
論孔子學說所以適應秦漢以來的社會的緣故	中山大學語歷研究所週刊	一、六。	六、一、六。
評春秋時的孔子和漢代的孔子	同	一、七。	六、一、七。
與顧頡剛論古史書	同	一、三。	七、一、三。
同	同	二、四。	七、一、三。
關於葛洪古家的通信	同	三、其。	七、五、九。
周頌說 附論魯南兩地與詩書之來源	中央研究院歷史語言研究所集刊	一、一。	七、十。
歷史語言研究所工作之旨趣	同	一、一。	七、十。
戰國文籍中之篇式書體	同	一、二。	九、
大東小東說 兼論魯燕齊初封在成周後乃東遷	同	二、一。	九、二。
姜原	同	二、一。	九、二。

論所謂五等爵

同 二、一。 九、二。

明世祖生母記疑

同 二、四。 九、

新獲卜辭寫本後記跋

國立中央研究院歷史語言研究所安陽發掘報告 二。 九、七。

本所發掘安陽殷墟之經過

同 二。 九、十二。

周東封與殷遺民

中央研究院歷史語言研究所集刊 四、三。 三。

夷夏東西說 蔡元培六十五歲記念論文集下。 四、一。

單行本

東北史綱 初稿 第一卷古代之東北 二、十。

傳斯年的初期の著作、文學革命運動、白話文に關する論文
評論は雜誌「新青年」「新潮」に夥しけれども、本目錄には
略せり。

(三國谷 宏)

「汪古部の一解釋」(前號一)正誤
(元頁所載)

頁	行	誤	正
六、十一		existet	existed
六、十三		Mungul	Mungul
六、十四		Mungul	Mungul
二、十二		一部派	一部族
三、十六		韃靼	韃靼
二、二		卷 二五	卷 一五
一、一		平穩である	平穩であるか
一、五		僕固懷恩	僕固懷恩
二、八・九		鉄勒傳	鐵勒傳
三、一		且防	邊防
三、註 8		四子部落傳	四子部落條
三、註 13		P. 48. n. l.	P. 84. n. l.
同		田中博士が契丹と譯されてゐるのは 妥當でなく、	之は筆者の誤解に就 き謹んで訂正す。博 士の譯文には、契丹 (金)とある。
三、註 20		Inschift.	Inschrift.
同		sakiz oruz	sakiz oyuz
二、註 25		振武軍	寇振武軍